

No.	回答場面	回答者	項目	意見等	対応	施策の方向への意見反映
1	圏域会議	半田委員	③持続可能な観光地づくりに向けて	・仙台圏域の施策の方向性について、③持続可能な観光地づくりに向けてとある。亘理町のキラコンテンツである“はらこ飯”のような郷土料理を大事にしている地元の業者、飲食店を守る施策も必要ではないか。	・郷土料理を含めた地元の食の充実、観光地の魅力向上に繋がるものと考えており、今回の圏域の施策の方向性の中でもその重要性を取り上げています。具体的な支援施策は、今後の実施計画で明確にします。	一部反映
2	圏域会議	林委員	(キャッチフレーズについて)	・仙台圏域の施策の方向性にあるキャッチフレーズのように、東北・宮城のゲートウェイ機能を活かした周遊性に優れた観光地づくりという、いわゆる仙台圏域が全体をリードしますよというフレーズは非常によい。	—	—
3	照会	(株)佐浦 富谷委員	(全体について)	・仙台圏域の施策の方向や取組みは、プランの内容で概ね良い。 ・滞在期間や宿泊日数の延長に向けたコンテンツの充実を図れるかが目標達成のポイントになると感じた。他県のコンテンツと比較しても遜色なく、充実した内容を目指すことが望ましく、圏域の特徴を詰めた、消費者がわかりやすいキャッチコピーも必要だ。 ・コンテンツの充実を図るためには圏域にいる私達もいろいろと磨き上げが大事になる。圏域内の各施策についても情報を共有して、互いに魅力を補う連携が求められる。	・コンテンツの充実に向け、今後も圏域会議等を活用した施策の情報共有や研修機会の提供、補助事業等の情報提供等を図っていきます。	—
4	照会	(株)やまもと地域振興公社 馬場委員	圏域観光の現状・課題 ①周遊観光の促進と宿泊を伴う滞在期間の延長	・都市部から外れた知名度の低い名所、観光地、イベントなどの魅力も発信できるような観光PRビデオを作成して宮城の玄関口、宿泊施設で発信すれば滞在期間の延長につながると思われる。 (※そのようなPRビデオがあるのであれば、認識不足です。)	・当事務所では、各市町村と連携し、観光動画(現在、HPやYouTubeにて公開)やSNSにて発信する取組を進めています。これまでのこれらの動画を各宿泊施設へ提供することは可能です。今後も最新観光情報をSNS等を通じて発信していくこととしています。	—
5	照会	仙台市	P45(2頁)全体	・項目名の体裁が不統一(①～取組の必要性、②～に向けて、③～に向けて)になっているので、すべて「～に向けて」にするなど、体裁を整えた方が読みやすくなると思われる。	・御指摘のとおり修正します。	○
6				・分量についても不統一感があるため、①内の2つの○の分量を同程度にすると見た目が整うと思われる。	・(質問12及び13に関連)教育旅行に関する内容について、当計画内の具体的な目的を記載します。	○
7			全体①(柱書)	・仙台圏域の「ゲートウェイ機能」をどう活かすのかが読み取れない。仙台や松島にたくさんの人が訪れてきていることを指すものか?	・当圏域に陸・海・空の主要なゲートウェイ(入口)あり、観光客がたくさん利用することから、そこを起点に圏域を周遊していただきたいとの思いです。	—
8			圏域の施策の方向性及び取組①(マイクロツーリズム)	・マイクロツーリズムの磨き上げは重要だと思うが、新たな観光戦略で「コロナ禍で普及した」ものを「継続する」ことを謳って良いものか疑問である。これらの文言は削除し、圏域内のまだ知られていない/有名ではない観光資源を県が掘り起こし、仙台や松島といった既に観光客が多く訪れている人気のスポットなどとセットにしたプロモーション等によりマイクロツーリズムを推進するなど、自由に旅行ができるようになって全国から人が集まる仙台圏域オリジナルのマイクロツーリズムの推進について言及いただくと良いのではないか。	・当圏域オリジナルのマイクロツーリズムの推進という方向性がわかるように修正します。	○
9			圏域の施策の方向性及び取組①(観光ルートの造成)	・テーマ性やストーリー性を持たせた観光ルートの造成とは、協議会が情報発信するモデルコースなどの情報のことを指すものか。理想は旅行業者が自発的に圏域内の旅行商品を造成してくれることだと思うが、SNSでの情報発信ではなかなか旅行業者には届きにくいのではないか。商品造成の支援を行ったり、旅行業者への積極的な情報提供にも努めたり、といった具体的な取組みは、実施計画で記載するのか。	・観光ルート造成は、協議会での情報発信の意味で記載していますが、機会を捉えて旅行業者への積極的な情報提供を行う取組にも努めていきます。	—
10			圏域の施策の方向性及び取組①(観光ルートの造成)	・マイクロツーリズムの推進にあたっては、テーマ性やストーリー性を持たせた観光ルートの造成は不可欠だと思います。気になったのが、文中で挙げられているのはいずれも「テーマ観光」だと思いますので、それらを組み合わせて「ストーリー性」が生まれるか、表現の問題だと思いますがご検討いただければ幸いです。	・テーマ観光とストーリー性のある観光がわかるよう、修正します。	○
11			圏域の施策の方向性及び取組①(観光ルートの造成)	・圏域会議でも話題になりましたが、「酒」をフックにしたツーリズムの推進には「二次交通」の整備が欠かせない。周遊を促す観点からも、また、宿泊を伴うことで気兼ねなく美酒を楽しんでもらうためにも、二次交通に関する言及があると具体的になるのではないか。	・二次交通の整備は、県全体の重要な課題であると思いますので、当圏域の施策の方向性からは省きます。	—
12			圏域の施策の方向性及び取組①(教育旅行)	・教育旅行推進の目的が、副次的なものを挙げているように感じた。教育旅行は、訪問先で学びを得るといふ、社会的意義を有するものではないか。あわせて誘致する側としては、団体宿泊旅行の誘致(かつ平日など閑散期の宿泊も見込める)という点で、戦略の目標達成に向けた効果のある取組みであるからこそ推進していくものだと思うがいかなものか。	・教育旅行の記載内容を修正します。	○
13			圏域の施策の方向性及び取組①(教育旅行)	・上記に関連して、教育旅行を仙台圏域に誘致するにあたっては、圏域としてのテーマを設定する必要があると感じる。なぜ教育旅行でわざわざ仙台圏域に来てもらうのかという点を、プラン策定段階から具体的に、旅行先を検討する学校関係者側の視点から検討しておくといかないか。	・上記に関連して、記載内容を修正します。	○

No.	回答場面	回答者	項目	意見等	対応	施策の方向への意見反映
14	照会	仙台市 (続き)	圏域の施策の方向性及び取組②	・貴県が考える「ターゲット」が明記されると良いのではないか。その上で、「県としての役割」を明示していただきたい。「市町村間の連携の強化を図る」ことの実策は、実施計画に記載するのかもしれないが、その先のあるべき姿/理想像がプランの中で示されていると、具体的な事業も	・圏域としては国内外の幅広い世代の観光客の集客が目標ですが、今後実施する各種事業においては、個々のターゲット設定を明確にし取り組みます。	—
15			圏域の施策の方向性及び取組③	・観光地域づくりの実働部隊は地域の事業者である。行政の役割は、地域の事業者が稼げるような「環境整備/旗振り役」だと考える。DX化が事業者の求めていることなのか、高付加価値の観光コンテンツを自走させていく主体は誰なのか、研修会や情報交換会を実施することのゴールは何か（観光関連事業者同士で新たな収益事業を複数立ち上げてもらう等）。より持続可能な仙台圏域の地域づくりがどのようなイメージなのか伝わると良い。		—
16			その他	・「仙台圏域らしさ」がより出るために、特色ある観光コンテンツとして、了美ワイナリーや浦霞酒造、グレートデーンブリューイング、ニッカウヰスキー宮城峡蒸溜所など多彩な酒造メーカーが集積していることが伝わるような表現があっても良いのではないか。	・御提案のあった多彩な酒造メーカーの集積について、文章内に記載します。	○
17			その他	・「特色ある観光コンテンツ」（→写真掲載部分）の「特色」が何かも補足されると、圏域らしさが出せるのではないかと（例：多賀城南門→創建1300年の節目の年に完成し、門前ではナイトコンサートが開かれるなど、地域のランドマークとなっている、等）	・御提案のあったとおり、写真下にキャプションを加えました。	○
18	照会	松島町	その他	・仙台圏域の都市部に集中している宿泊について、高付加価値化等による地方部を含めた広域での宿泊日数を延長できる取組を希望する。特に平日の連泊による体験型コンテンツの造成や周遊の取組をお願いしたい。GREEN JOURNEY等の環境に配慮した新しい旅のスタンダードとなる取組も推進していただきたい。	・御提案のあった各種取組については、今後の具体的な実施計画で検討します。	—